

船堀から長島(東葛西)、桜を眺めながら古寺と古木を訪ねる旅

6.4km



①一之江境川親水公園

「野川の再生」をテーマに整備された延長約3kmの親水公園です。春は隣接する二之江さくら公園の桜のお花見、夏はじゃぶじゃぶ池で水遊びができます。



②新川千本桜

延長約3kmの豊かな水辺空間中流部には、「新川さくら館」があり、飲み物や伝統工芸品などが販売されており、お花見の合間のお休み処としておすすめです。ソメイヨシノの見ごろは4月上旬～



③赤い橋(野瀬文橋)

大正から昭和の初期、古川に赤い橋が架けられました。写真左のページの建物は、当時「文床」という床屋さんで、姓が「野瀬」だったことから橋の名が野瀬文橋となりました。なぜ赤いのかは不明ですが、近くの妙光寺の山門は赤く塗られ、赤門寺と呼ばれています。赤は魔よけとの説もあります。橋際の枝垂れ桜は4月中旬頃開花します。



④古川親水公園の紫陽花

昭和48年開園で国内の親水公園第1号。水景に浮かぶ沢山の紫陽花が楽しめる穴場スポットです。見ごろは6月下旬～



⑤二之江神社の大ケヤキ

古川親水公園のほとり、妙勝寺の対岸二之江神社の境内に、樹齢500年、幹週約5m、高さ20mのケヤキがあります。500年の間に静かに古川を見守っていたのでしょうか。



⑤妙勝寺

4月上旬に妙勝寺の山門をくぐると、ここは極楽浄土かと思わせる美しいソメイヨシノに出会えます。江戸名所図会にも描かれた、800年の歴史を持つ名刹です。



⑥宇田川家長屋門

江戸時代に建てられた茅葺の長屋門でしたが、茅葺の調達が困難で瓦屋根に建て替えられました。先祖は宇喜田村を開拓した宇田川喜兵衛で、屋敷周辺の古木が見事です。



⑦熊野神社のハナモモ

おくまん様と呼ばれる熊野神社は、江戸川を上下する船人の信仰を集め、宮の前を通る船は帆を下げて航路の安全を祈りました。3月下旬の花桃が美しいです。



⑨東善寺のイチョウ

本堂前の大イチョウは、樹齢400年と伝えられています。江戸時代初期に植えられたようです。



⑧正円寺のサルスベリ

本堂脇に植えられている樹齢800年と伝わる白いサルスベリ。古木でもこれほどのサルスベリは少ないです。平成の初めに宮崎から嫁入りしました。

